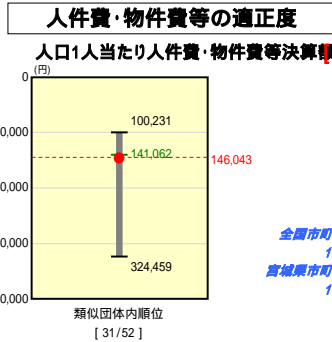
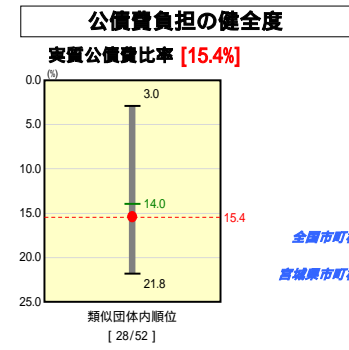
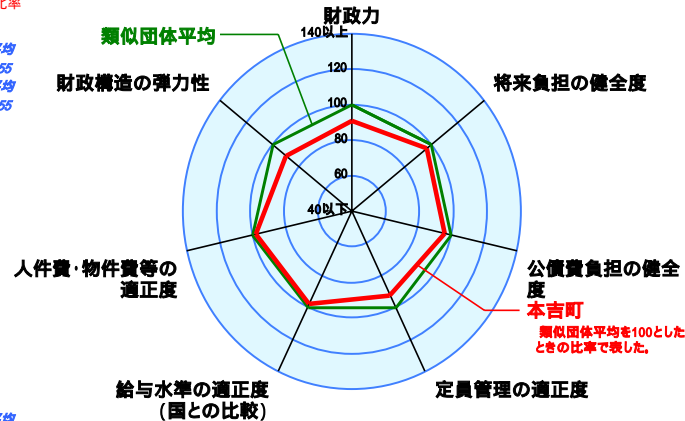
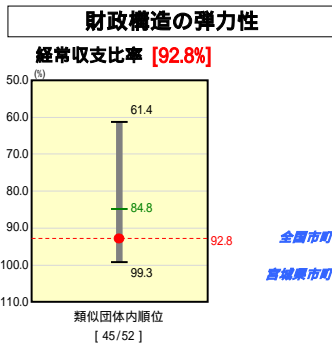
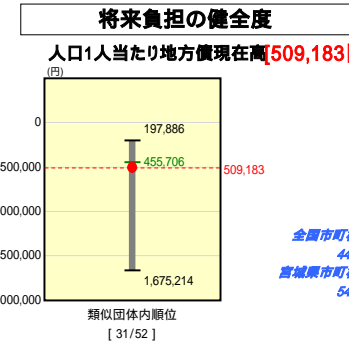
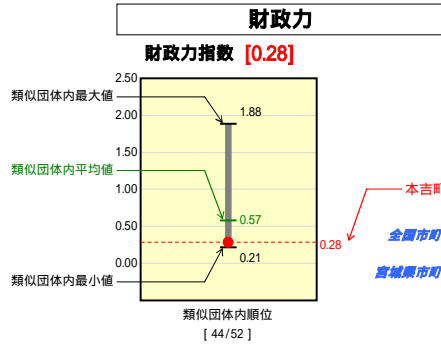


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

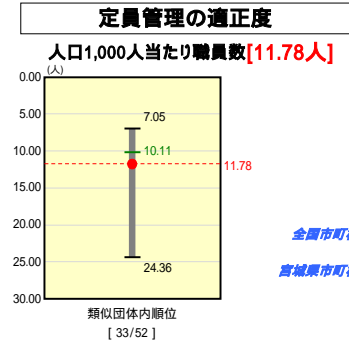
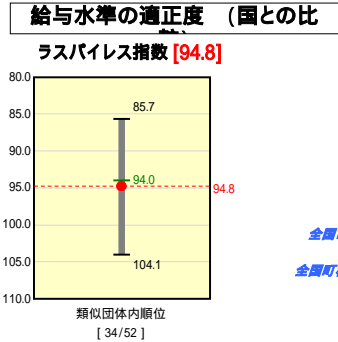
宮城県 本吉町

人口	11,456	人(H20.3.31現在)
面積	106.70	km ²
歳入総額	4,491,109	千円
歳出総額	4,414,017	千円
	69,653	千円



給与水準の適正度 (国との比較)

類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイルズ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年度地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数:人口の減少に加え、企業数が少ないことや長引く景気低迷による町税の減収等により、財政基盤が弱く類似団体平均を大きく下回っている。

経常収支比率:類似団体に比べ税収等の一般財源が少ないため、類似団体平均を上回っている。経常経費の削減については、人件費を中心に経費削減を行った結果、経常収支比率は前年を下回っている。

ラスパイルズ指数:類似団体とほぼ同じ水準であり、厳しい財政状況を踏まえ、国の給与構造改革に基づく見直しを行い給与水準の適正化に努めている。

実質公債費比率:財政負担を考慮し、後年度において元利償還金に對し交付税措置がある地方債を選択するなど、町債発行額の適正管理に努めているが、公債費に準ずるものとして算出に用いられる債務負担行為に基づく支出が、学校用地の取得等により類似団体と比べて多額になっていることにより、平均を上回っている。

人口1人当たり地方債現在高:ここ数年新規地方債発行額がその年度の元利償還金を上回らないように財政運営をしてきたことにより地方債現在高は減少傾向にある。

人口1,000人当たりの職員数:類似団体平均を上回っているのは幼稚園、給食センターなどの施設運営に職員を配置していることが主な要因となっている。

人口1人当たりの人件費・物件費等決算額:類似団体平均を上回っているのは幼稚園、給食センター等の施設運営を直営で行っていることが主な要因となっている。